

練馬区立小中一貫教育校推進委員会（第12回）要点記録

開催日時	平成22年6月18日(金) 午前10時00分～午前11時45分	
会場	大泉学園桜中学校 2階会議室	
出席者	委員	本木薫、中島広美、諏崎啓美、伊藤照代、下村恭子、渡邊裕、 中田清、相馬功紀、坂口節子、時政千恵子、坂田美由紀、 木下川肇、高島邦夫、伊藤隆、元木靖則、室地隆彦（敬称略）
	事務局	新しい学校づくり担当課、教育指導課
	その他	教育出版
傍聴者	8名	
案件	1 小中一貫教育校の統一校名の検討 2 小中一貫教育校の統一校章の決め方 3 小中一貫教育校の統一校歌の決め方	

委員長

第12回小中一貫教育校推進委員会を開催する。事務局より委員の出欠状況の報告と資料の確認をお願いする。

事務局

本日の出欠状況は、18名中16名出席、2名欠席である。

資料1～3を事前に送付した。第11回推進委員会の要点記録を席上に配付したが、近日中にホームページで公開する予定である。

1 小中一貫教育校の統一校名の検討

委員長

まず、小中一貫教育校の統一校名を検討し、本日の話し合いで1つに絞りたいと思う。前回欠席された委員から感想、意見をお願いする。

委員

最後に「小中一貫教育校」がつくとしたら「大泉学園桜」は違和感がない。代わり映えないということも考えられるが、一番じっくりくるのではないかと思う。

委員

「大泉」「桜」をどうしても残したいと思っていた。どの校名にも入っているし、賛同している。どれを選ぶかはこれからの話である。

委員

「小中一貫教育校」が入るなら、今までなじんだ校名が良いのではないかと思う。校歌にこの「小中一貫教育校」がどう収まるのか、「一貫」の言葉を入れると元気が出るのではないかと思いながら、いろいろメロディーを付けてみた。

委員長

前回挙がった統一校名候補の一覧をご覧いただきたい。各委員の意見を伺いたい。前回6つに絞り込めた。どれも甲乙つけがたく迷うがこの6つから更に絞り込みたい。

できる限り合意の方向に持っていきたい。

委員

「練馬区立大泉学園桜小中一貫教育校」が良いと思う。現在両校は大泉学園桜小学校、中学校なので、小中一貫になるにあたってイメージを変える意味では、ほかの2つも大変良いのではないかと思った。また、変わったことをアピールするには名前が変わったほうが良いのではないかとも思った。しかし、両校の今までの30年の歴史がある。ここで育ったたくさんの卒業生には、一貫校になるにあたってうれしい気持ちとどこかちょっと寂しい気持ちがあると思う。

これまで両校に携わった先生方、また地域の皆様も、本当にこの学校を愛してくださった。ご協力もいただいている。これまでの歴史も考えて、30年の土台の上に小中一貫を新しく作っていこうという意味で、これまでの「大泉学園桜」は残して、改めて未来に向かって新しい学校作りをしていく意味で「小中一貫教育校」を合わせるのが一番良いのではないかと思う。

委員

最初は「小中一貫教育校」を前に持ってきてても良いかと思った。しかし、並べてみると「練馬区立大泉学園桜小中一貫教育校」が一番なじんでいる。「大泉学園桜」という言い方ももちろんだが、最後に「小中一貫教育校」と持ってきたほうがインパクトがある。

委員

どれも甲乙つけがたい学校名なので、しかるべき機関できちんと決定していただきたい。

委員

「練馬区立大泉学園桜小中一貫教育校」が良いと思う。この土地の名前が入っていることもあり、子供たちも「桜」という言葉を残したいと願っていると思うので、子供たちが親しんでいる「大泉学園桜」がそのまま入っているので、これが良いと思う。

委員

これは地域の大きな問題なので地域の方の意見が中心になると思うが、聞いている中で、やはり「練馬区立大泉学園桜小中一貫教育校」が一番適しているのではないかと思う。

委員

「練馬区立大泉学園桜小中一貫教育校」でよろしいかと思う。

委員

当事者の先生方の「小中一貫教育校」を入れたいという熱い思いをすごく感じている。一番座りの良い「練馬区立大泉学園桜小中一貫教育校」が一番しっくりするのではないかと思う。

委員

「小中一貫教育校」をはっきり出したいので、「練馬区立大泉学園桜小中一貫教育校」を教育委員会に持って行っていただけるとありがたい。

委員

この6つの中のどれに決まってもそれなりに特色ある学校と校名になるので、異論はない。

委員

先ほどからの話では、「大泉」という地名、「学園」「桜」「小中一貫教育校」ははずせないということであった。私は「練馬区立大泉桜学園小中一貫教育校」が良いと思う。理由は品川や足立、三鷹などで「学園」とついている。つまり「学園」とは一貫校を表わす一つのアピールであり、ここは大泉学園町であるが「大泉桜学園」ということで「学園」は一貫校を表していると思う。

また、職員室で電話を受ける時に「大泉学園桜小中一貫教育校」と言わなければならない。ところが「大泉桜学園です」と言えばそれで一貫校を表わす。「大泉」の地名、小中両方にある「桜」の学校名、それから「学園」は一貫教育校のシンボル名なのだとわかる。これらが含まれている「練馬区立大泉桜学園小中一貫教育校」が一番アピールしやすく、実用性もあるのではないかと思う。

副委員長

一貫校でよくつけられている「学園」と地名の「大泉学園」の重なりも考えなければいけない。「大泉学園桜小中一貫教育校」が一番すっきりと落ち着く感じがする。

委員長

各委員から意見を聞いたが補足の意見はあるか。絞り込まなければいけないので、伺った中で意見のなかったもの、比較的意見の少なかったものを削っていきたい。

委員

学校に電話がかかってきた時の受け方が「大泉学園桜です」「大泉桜学園です」「桜大泉学園です」の3通りあるが、「大泉桜学園です」が受けやすいと思う。私は以前から「大泉桜学園」が頭にあり、ここは大泉学園町という地名で、大泉学園の中に桜学園があるというイメージにしたい気持ちがある。したがって、「大泉桜学園」という校名、正式には「練馬区立小中一貫教育校 大泉桜学園」が良いと思う。

委員

「練馬区立大泉学園桜小中一貫教育校」の賛成者が多いが、これは電話の時に略せないと思う。「大泉学園桜小中一貫教育校です」と全部言わなければならない。「大泉学園桜です」とは言えない。そして電話は一貫校として受けるのか、小学校として受けるのか、中学校として受けるのか。それぞれ2種類あり、実用的でないと思う。

委員

緑小も「緑小」と、桜も「桜小」「桜中」と、大泉学園を省いても十分分かる。電話でも「学園桜です」と言えばあの小中一貫校の学園桜かと、略称が通じる気がする。「大泉桜学園」は大好きで、新しい学校だというアピールになると思う。私たちが普段、緑小、桜小と言っているように「桜学園です」と名乗ったほうが良いのか、あるいは野球のチームなどは時々「学園桜」と言っていて、「学園桜」もこの地域ではサッカーチームなどの名前として通っている。

したがって、あまり変えずに小中一貫校になったのだというならば、「練馬区立大泉学園桜小中一貫教育校」だし、フレッシュな学校になったというのならば、「練馬区立小中一貫教育校 大泉桜学園」だと思う。

委員

今の意見は、地域には通用すると思う。しかし、電話の場合はいろいろなところからかかってくるので、必ずしもそれは通用しないと思う。

委員長

ほかになれば意見の少なかったものから削りたい。「練馬区立小中一貫教育校 大泉学園桜」、「練馬区立小中一貫教育校 桜大泉学園」、「練馬区立桜大泉学園小中一貫教育校」は意見がなかったと考え、この3つをまず削ることで異論はないか。

それでは、「練馬区立大泉学園桜小中一貫教育校」、「練馬区立小中一貫教育校 大泉桜学園」、「練馬区立大泉桜学園小中一貫教育校」に絞って決めていきたい。

委員

電話の受け答えの件は、電話だけを言っているのではないと受け止めている。あまりに

も長すぎると日常的に支障が生じるだろうし、周りの皆さんからもどう呼ぶのかと、逆に意図しない変な略で呼ばれるのは不本意である。どういう視点で話し合っていくかという点では、そういう教訓が意識の中にあっただほうが良いと思う。

私は、それが許容範囲を超えるかどうかは別として、今、残された3つはどれでも良い。別に無責任に投げ出しているわけではなくて、良い3つに絞れてきていると思う。

電話のことだけ言うと、しっかりした会社に電話をするとフルネームできちっと名乗っている。略して電話対応するような会社はやはりちょっとぞんざいかと思う。きちっとした電話の受け答えも含めて世間へのアピールは今後、所属職員はみんな、意識を新たにしなければいけないと思う。そこは、教職員の指導の問題であると受け止めている。

「教育校」で終われば校長だが、「学園」で終わると学園長とか園長という通称になり、副校長も副園長となるのか？それから、小学校とか中学校のにおいを全く消し去るところに一貫校の意義がある。4年制・3年制・2年制の枠組みの9年制の学校と考えているので、その枠組みで良い呼び方がないか意見を聞かせていただければと思う。

例えば低学年・中学年・高学年という呼び方が良いのか、初等部・中等部・高等部という呼び方が良いのかも含めて、そういう意識の中で9年間の学校を考えていくべきだと思っている。「小学校です」「中学校です」というものがなくなった時こそ、真の一貫校になると思っている。

委員

前回の話では「大泉学園」の地名と「桜」の校名をぜひ生かしたいということであったが、「大泉桜学園」の名称はどうしても大泉学園の地名を割って中に「桜」を入れるような言葉の作りこみがある。「学園」の響きでは確におっしゃる趣旨も分かるが、たまたま「学園」がダブる中で、私としては「大泉桜学園」という響きに関しては、地名をどう考えるのかという点で違和感を覚える。

委員

ここでは候補を何本かに絞って、それを教育委員会で決定する手順になっている。その時に教育委員の方々が推進委員会の意見を反映させやすいよう考え方を十分整理し、3本を1本ないし2本の案にまとめるということで良いか。

事務局

教育委員会としては先般来ご案内している通り、教育委員会で協議して統一校名を決めたい。ただ、地域の学校ということなので推進委員会でどういう考えでどういう校名が良いのか十分議論し、できれば1つ、場合によっては2つに考えを整理して、合意の中身と合意に至った経緯も含めて教育委員会に報告し、教育委員会で議論するという手順を踏みたいと考えている。

今、3つだがもう少し絞り込めるのかどうか。また、この案に決まると困るというのが残ってしまうと、合意形成として難しい部分があるかと考えるので、合意していただければと思う。

委員

かなりいろいろな意見を出してここまで絞り込んだので、この3つでお願いしたい。どうしても地域の意見をご希望であれば、ここだけで決めるのではなく、この3つを公表して投票という形が良いと思う。

委員

この後いつまでに校名を決め、それを受けてどの辺りまでに校歌を決めるのか。そのスケジュールを明らかにすると意見も集約しやすいのではないかと。

事務局

推進委員会では、統一校名の後に統一校章（シンボルマーク）、統一校歌について議論いただきたいと思っている。日程的には、校名が決まらなると校章についても方向性が決まらない。統一校名については、7月中旬に教育委員会において決まる。

その後、校章、校歌をどのような形で決めるのか。校章については通常、統一校章の旗を作り、統一校章をどこにどう使うかの検討を行う学校運営上の部分がある。一般的には10月中に統一校章が決まっていたほうが4月に間に合い、いろいろな場面で使える。

校歌についても開校式等で児童、生徒が歌うことを想定すれば、1月末ぐらいに完成したい。プロの方もすぐに作詞、作曲はできない。4か月から6か月ぐらいは見たほうが良いとなると、非常にタイトな日程になる。推進委員会で2回の検討で統一校名の一定の方向性を出してもらいたい、3回目にはずれ込むと校章、校歌もずれ込み厳しくなる。

教育委員会での協議がスムーズに行くように、一定の考え方を整理していただくと大変ありがたい。

委員長

投票したらどうかという意見についてどう考えるのか。

事務局

投票になると、その範囲などを皆さん方に相談させていただくことになる。集計等を考えれば当然、直近でやっても1か月か1か月半かかる。そして多く集まったもので決めるかどうかということもあり、最低でも1か月から1か月半ぐらいつれ込む。そういう意味では非常にタイトになる。

基本的に各委員には学校、地域、保護者の代表ということで推進委員会に参加いただいている。全員の意見を反映させるのは残念ながら非常に難しい。前段の公募でいただいた意見を踏まえてこの場で議論しているので集約をお願いしたい。

委員長

各委員の意見で3つまで絞り込み、この中で1つに絞るのはなかなか難しい面もあるが、これは除いたほうが良いのではないかと、これは支障があるのではないかとという意見をお願いしたい。

委員

先ほどアンケートと言ったのは、地域の意見をどうしても反映させたいならば地域でアンケートをとったほうがより反映されるのではないかとということである。

この3つは、どの委員もそれぞれいろいろな思い入れがあって候補に残っているので、ここから絞るのはちょっときついと思う。

委員

真ん中の「学園」で終わるのはやはりやめたほうが良いかもしれない。園長と副園長になるならば「学校」で終わったほうが良いのではないと思う。

委員

興本扇学園も「学園」だが校長先生だった。私は、「練馬区立小中一貫教育校 大泉桜学園」の大泉学園の中に「桜」があるイメージがすてきかなと思う。

委員長

今、いただいている意見で「大泉桜学園」とした場合、「小中一貫教育校」の後ろに持ってくるのが良いのか、前が良いのか、意見をいただきたい。

委員

「大泉と学園」の間に「桜」があるという考え方は今までなく、大泉学園の地名が分かれてしまうが、そういう考え方ならば「大泉桜学園」で終わるのも十分成り立つ。

それから「園長」が悪いとかそういう気持ちはない。例えば行政として、多くの一貫教育校が「学園」で終わらせているからそういう共通の認知度の中に入って行く方針もあるかもしれない。そういう考え方であれば、「練馬区立小中一貫教育校 大泉桜学園」も方向性として十分あり得ると思う。

前回の私の意見はむしろ、中高一貫は法的に整備されているが、小中一貫はされていない中で、先がんばっている学校・学園の中に入って行くよりは、一貫教育校であることを明らかに出したほうがより特色化につながるのではないかという考えに基づいており、今もその辺の気持ちは変わらない。変わらないが、「大泉桜学園」という考え方も含め、「学園」で終わらせるのも、今申し上げた理由で支持できると思う。

どれも一長一短ではなく、甲乙つけがたくなってきている。

委員

先ほど「大泉学園」の中に「桜」があるから良いと言ったが、決して大泉学園という町を分離するような考え方ではない。「大泉」がお父さんで「学園」がお母さん。その中に子供がいるのだと考えてほしい。地域を大事にしたいという意味もある。大泉学園の中に学校がある。だからみんなで可愛がろうじゃないかという発想である。決して分離しようという意図はない。

委員

3つの中でこれはどうしても困るというものはない。これだけ時間をかけても2つを選べないわけだから、3つというのはいけないか。もうみんな出し切っているので、違う方の新しいセンスで協議していただければと思う。私はどれに決まっても困らない。

委員長

「大泉桜学園」の名称を使う場合、小中一貫教育校が前に付くのか、後に付くのか？

委員

あえて言えば、「練馬区立大泉桜学園小中一貫教育校」は落ちるかと思う。「学園」で終わらせるか「一貫教育校」でアピールするかという考え方でいくと、「練馬区立大泉桜学園小中一貫教育校」は残らなくていいかと思う。その上で学校の設置者は練馬区であるので、管理にあたる教育委員会で10年、20年先の計画も含めて考えていただきたい。

委員長

「練馬区立大泉桜学園小中一貫教育校」を落としても良いのではないかという意見が出た。

委員

特に異論がなければ、「練馬区立大泉学園桜小中一貫教育校」、「練馬区立小中一貫教育校 大泉桜学園」の2つでかまわない。

委員

響きや目で見ただけの感覚として、「大泉桜学園小中一貫教育校」はすごくややこしくて響きも聞きづらく誰の印象にも残らない。どちらの理論にも属さない中途半端な学校名で違和感がある。「練馬区立大泉学園桜小中一貫教育校」、「練馬区立小中一貫教育校 大泉桜学園」は、それなりにすごくインパクトがある。

「練馬区立大泉桜学園小中一貫教育校」は、最後に「小中一貫教育校」とくると「大泉桜学園」というところで、子供たちに「どこの学校に行っているの」と聞いた時「大泉桜学園」と言う子もいれば、「大泉桜学園小中一貫教育校」ときちんと答える子もいるであ

ろう。そういう意味ですごく違和感がある。

委員長

感覚的なところは大事だと思う。

委員

皆さんの考えを聞けば聞くほどなるほどと思って、私はもうどうして良いのか分からない。地名をそのまま残したい思いも分かるし、「大泉桜学園」もアンケートでは数が多くて、この響きは私も個人的にすごく良いと思っている。いろいろな考えが出たということで、この3つをそのままお願いするのはいけないのか。

委員長

今、「練馬区立大泉桜学園小中一貫教育校」は除いても良いのではないかという意見が出たが、いかがか。

委員

これはという意見を念頭に置いて、3つ持ち帰っていただければと思う。

委員

それぞれ並びが違うので、3つそのまま持って行っていただきたいと思う。

事務局

違和感があるという意見も含めて3つということであれば、3つになると思うが、できれば、教育委員会での議論の拡散を防ぐ為にも2つのほうが助かる。

委員長

「大泉桜学園」の名称を使った場合、「練馬区立小中一貫教育校 大泉桜学園」、「練馬区立大泉桜学園小中一貫教育校」の2つは非常に甲乙つけがたいが、よりこちらが望ましいという意見はあるか。

委員

私は、「練馬区立小中一貫教育校 大泉桜学園」が良いと思う。

委員

「練馬区立小中一貫教育校 大泉桜学園」が座りもよく、響きも良いと思う。

委員

私も「練馬区立小中一貫教育校 大泉桜学園」が良い。後ろに「小中一貫教育校」がくるのであれば、「練馬区立大泉桜学園小中一貫教育校」よりも「練馬区立大泉学園桜小中一貫教育校」が良い。2つに絞るのであれば、「練馬区立大泉学園桜小中一貫教育校」と「練馬区立小中一貫教育校 大泉桜学園」になる。

委員長

2つに絞り込んで良いという意見が出た。

委員

質問だが、卒業証書などは、決まった学校名になるのか？

委員

法的に中学校と小学校は残るので、卒業証書については「大泉学園桜中学校長」という出し方に変わりない。

委員

小学校は卒業式がないのだから、中学と同じになるのか？

委員

小学校も小学校の卒業証書を発行していくかたちになる。

事務局

今の考え方で良いと思うがいろいろな考え方がある。例えば中学校3年生の卒業は確か

に一貫校としての卒業になるので、その時点ではこれから決まる一貫校としての名前で印を押せると思う。

ただ、6年生の段階では一貫校を卒業したわけではないので「桜小学校」の名前で卒業証書もらうパターンの先行事例が多い。それはこれからの考え方による。

委員

一貫校として9年間の卒業証書を出すという考え方がもしあればその方向で調整していただきたい。例えば小学校6年間は別の学校で一貫校では3年間の教育課程しか経ていない場合、それでも9か年分の卒業証書を出せるのか？

事務局

途中からの場合もやはり一貫校としての名前で卒業証書を出すことになると思う。

委員

そういう先行事例があるということか。

事務局

そのとおりである。

委員長

3つ並列で提案する意見もあるが、「大泉桜学園」という名称を残すなら「練馬区立大泉学園桜小中一貫教育校」と「練馬区立小中一貫教育校 大泉桜学園」に絞り込んで良いという意見もあるので、「練馬区立小中一貫教育校 大泉桜学園」と「練馬区立大泉桜学園小中一貫教育校」のどちらかに絞り込みたい。

委員

1番最初に皆さんに聞いた時、「練馬区立大泉学園桜小中一貫教育校」が多かったと思う。そう思っている委員が多い中で、「練馬区立小中一貫教育校 大泉桜学園」と「練馬区立大泉桜学園小中一貫教育校」のどちらにするかを聞いても、「練馬区立大泉学園桜小中一貫教育校」が良いと思っている場合は、「練馬区立小中一貫教育校 大泉桜学園」と「練馬

区立大泉桜学園小中一貫教育校」はどちらでも良いと思ってしまうのではないか。

事務局

教育委員会に3本持ち込むのであれば、3本どれになっても良いという推進委員会での了解が前提である。教育委員会で協議する場合には、「練馬区立小中一貫教育校 大泉桜学園」も「練馬区立大泉桜学園小中一貫教育校」も結果としてあり得る。「練馬区立大泉学園桜小中一貫教育校」が一番良いが、「練馬区立小中一貫教育校 大泉桜学園」と「練馬区立大泉桜学園小中一貫教育校」だったらこちらというのがもしあるのであれば、合意をいただきたい。

逆にどちらでも教育委員会預けで結構ならば、それで承る。先ほどからの議論で「練馬区立大泉桜学園小中一貫教育校」に若干違和感があるという意見があるので、その点を確認していただきたい。

委員長

「練馬区立大泉桜学園小中一貫教育校」は違和感があるという意見があった。絞り込む方向で良いか。

委員

この3つの中から選んでほしいと言われれば、どの校名を選ばれても仕方がないということである。私は、「練馬区立大泉桜学園小中一貫教育校」を選んではしくないという気持ちがあるから、できれば「練馬区立大泉学園桜小中一貫教育校」と「練馬区立小中一貫教育校 大泉桜学園」を持ち帰って検討してもらいたい。

委員長

「練馬区立大泉桜学園小中一貫教育校」は違和感があるという意見が出ているので、より全体の合意を得るのであれば、「練馬区立大泉学園桜小中一貫教育校」と「練馬区立小中一貫教育校 大泉桜学園」の2本に絞り込む方向で良いか。

委員

よろしく願います。

委員長

それではまとめる。いただいた意見を踏まえ、統一校名の候補として「練馬区立大泉学園桜小中一貫教育校」と「練馬区立小中一貫教育校 大泉桜学園」の2本を教育委員会に提案することに決めたい。これでよければ拍手で確認いただきたい。

[一同拍手]

2 小中一貫教育校の統一校章の決め方

委員長

次に小中一貫教育校の統一校章について、事務局から資料の説明をお願いする。

事務局

資料2の統一校章・シンボルマークについてご覧頂きたい。統一校名が決まってからになるが、決め方として2つ方法があるかと思い、案1と案2を示した。案1は、既存の桜小中の立派な校章があるので、それを含めて推進委員会で意見等いただきながら、複数のデザイナーに5点程度実際の図案を作らせ、それを推進委員会にお諮りして1つの統一校章・シンボルマークを決めていく。

案2は図案あるいは図案の説明を公募し、募集の範囲の関係はあるが、統一校名と同じように推進委員会で1つに絞り込む。案2のほうは募集して集計するので、どうしても日程がかかる。先ほど少し触れたが、10月末に完成の形を取ればその後の日程は収まると考えている。

裏面に現在の大泉学園桜小学校、大泉学園桜中学校の校章を由来も含めて記載した。

委員長

資料および説明について、質問、意見をお願いする。

委員

案2の場合の公募は、インターネットなどで広げる予定か。桜中学の場合、多分、当時の美術の先生に考えて頂いたと記憶している。緑色の美しさがとてもうれしかった思い出

がある。

公募という、今はこういうことが大好きな人がいて、ものすごい数がかかる。校名もすごい数が来たが、また絞り込むのが大変ではないか。公募はすごくフェアな感じがするが案1で良いと思う。

事務局

案2で良いということであれば、公募の範囲の相談をしようかと思っていた。公募をするとセミプロのような方も含め多くの応募をいただくことが予想される。図案を描くのはなかなか大変だから統一校名と同数とまではいかないかと思うが、100件以上くるだろうと思っている。図案自体はうまいものとそうではないものがある。ただ、大事なのはどういう考え方で描いたものかというコンセプトで、その検討で各委員に苦勞をかける。

先行している自治体でもこういう2つのやり方があり、案1も可能である。ただ、公募が良いというお考えもあろうかと思い、皆様方にお諮りした。

委員

案1のほうは、校章への思いや意見をまとめるのが大切かと思う。「桜学精神」の思いをシンボルマークの中に入れ込むなど、大切なところだと思う。開校にあたり皆さんの思いが一番伝わるのは案1ではないか。

委員

児童生徒が応募した案を専門家が補正した場合、採用した子供の名前を出すのか。

事務局

基本的には図案は著作権の関係が絡み、公募する場合には教育委員会が取得する前提である。光が丘の統合新校、あるいはそれ以外の場合も原作者の氏名は公表している。専門家のデザイナーのほうで補正をさせるが図案のコンセプト自体1つのアイデアなので氏名は公表する形になる。

委員

光が丘の場合はそれで特に問題はなかったが、心配しているのは、専門家による補正が

補正で済まない場合がある。子供の創意が生きる作品がうまくできればこんなに良いことはないが、小学生はどの程度のものが出てくるか分からず補正でなくなる事はないか。

事務局

補正以上のことはしない。補正できないもの、原作と言えないものは選ばないことになると思う。

委員

桜小学校、中学校の校章についてはまだ著作権を持っているのか。

事務局

基本的にはそれぞれデザインされた方が著作権をお持ちだと受け止めている。

委員

今回、校章をデザインするにあたっては桜の様子がどうしても入ると思う。著作権を買うとなると両方とも桜が入っているから、両方から買わなければいけない。放棄はしないだろうと思うがそのことについてどう考えるのか。

「学園」「桜」と名前が付くくらいだから、桜の花びらはどうしてもデザインの中に入ると思う。また、小中一貫校になり「小」「中」の文字は使えないので、練馬区の「蹄（ひづめ）」のマークが加わるのかなという気がする。

事務局

厳密なところは調べきれていない。いろいろ確認する必要も出てくる。

委員長

いただいた意見では案1の支持が多いようなので案1を進める方向で良いか。

(異議なし)

それでは、小中一貫教育校の統一校章の図案およびコンセプトについては、次回も引き続き検討する。

3 小中一貫教育校の統一校歌の決め方

委員長

次に小中一貫教育校の統一校歌について事務局から資料の説明をお願いする。

事務局

現在、桜小・桜中の校歌があり、それぞれ歌っている校歌に対する愛着があると思う。提案としては、統一校歌を小中一貫教育校としての行事で歌う機会が多くなる点を踏まえ、桜小中の児童生徒を対象に統一校歌に残したい言葉などを募集し、それを推進委員会で検討していただくのはどうかと考える。

検討した意見を、作詞家、作曲家へ依頼し、23年1月末に完成するスケジュールでいきたいと思う。日程的にタイトになるが、推進委員会で議論いただく前段で子供たちの思いを聞ければと考える。

委員長

資料および説明について質問、意見をお願いする。

委員

中学生と小学生では言葉に対する思いや使い方が違うと思う。小学校と中学校からキーワードを持ってきて入れてほしいと言われた時に作詞家はどのように対応するのか。例えば小学校低学年からはすごくやさしい言葉が出て、中学生からはそれなりのレベルの言葉遣いが出てくる。それはあくまでも参考で良いのか。

事務局

あくまで参考と考えている。推進委員会で素材なしで議論いただけるのならばそれで良いと思う。ただ、日ごろ歌っている子供たちに残したい思いがあれば受け止めたうえで、議論いただいたほうが良いのではないかと考える。

委員

小学校と中学校の校歌の歌詞がまったく違う。私はできた当時を思い出す。五十島詩路

さんは大泉北中の歌も作っている。公募したなかで決めたが詞が古い。

これはもう 30 年、子供たちも愛着を持って歌っているが、この中のこれだけは生かしてほしいというキーワードを 2 つか 3 つ選べと言ったほうが新しい校歌に愛着がでるかと思う。この中で残したい言葉を選びたい感じもする。1 人の個性でできる校歌はあまり望まない。

事務局

示している案は、各委員に意見を集約していただき、その中で残す言葉を合意して作詞家に依頼したい。その為の児童生徒たちへの公募である。

委員

質問だが、今までの小学校と中学校の校歌は歌われなくなるのか？

委員

現行の校歌を歌う場面はない。儀式的行事、運動会、始業式、終了式、離任式などで、児童生徒 9 年生がそろって学園歌を歌うことになる。

ただ、卒業記念品等でレリーフなど残っているので保管はする。歴史を確認する意味でどこかにしまいこまず、小学校の校歌、中学校の校歌と掲示を工夫する。

委員長

それでは統一校歌については資料 3 で提案された方向で進めることで良いか。

(異議なし)

最後に次回の案件および開催日時について事務局から説明をお願いします。

事務局

今回は統一校章についてデザイナーに依頼するにあたりコンセプトを各委員から意見をいただきたいと思う。

校歌については入れたい言葉をまず児童生徒に募集するという事で進める。

それから、来年 4 月の開校に向けての改修工事の工程等についての説明を予定している。

委員長

第13回推進委員会は平成22年7月9日金曜日の午前10時から、大泉学園桜中学校2階会議室で行う。開催通知は後日送る。

以上で第12回小中一貫教育校推進委員会を終了する。